



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL http://www.gunei-chemical.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)瀧井 康雄 (TEL) 027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,730	5.2	906	△27.1	1,007	△27.1	703	△28.4
30年3月期第2四半期	13,052	3.6	1,244	△6.6	1,381	0.5	982	△2.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 540百万円(△61.0%) 30年3月期第2四半期 1,385百万円(77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	101.45	—
30年3月期第2四半期	141.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	51,784	42,180	78.8
30年3月期	52,205	41,954	77.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 40,819百万円 30年3月期 40,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
31年3月期	—	40.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	6.1	2,000	△18.7	2,100	△22.5	1,300	△17.9	187.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期2Q	8,998,308株	30年3月期	8,998,308株
31年3月期2Q	2,068,394株	30年3月期	2,065,916株
31年3月期2Q	6,931,419株	30年3月期2Q	6,930,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復を背景に輸出や設備投資が堅調に推移し、個人消費が拡大したことにより企業収益は改善いたしました。一方で豪雨や震災等の自然災害の影響や、米中貿易摩擦の激化など、先行きは不透明な状況となっております。

このような経済環境のもと、当社グループは、事業環境の変化に対応し、製品の高付加価値化に取り組み、新規顧客の獲得やきめ細かい技術サポートを行うなど、更なる事業基盤の強化を図ってまいりました。

化学品事業においては、住宅関連向け樹脂が弱含みとなりましたが、電子材料向け樹脂及び自動車関連向け樹脂、建設機械向け樹脂が堅調に推移した結果、増収となりました。

食品事業においては、夏場の猛暑が清涼飲料水の売れ行きにマイナス影響を与え、飲料向けの異性化糖が伸び悩んだ結果、減収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比5.2%増加の13,730百万円となりました。

利益面では、償却負担の増加や原材料価格の上昇等の影響を受けたことにより、営業利益は前年同期比27.1%減少の906百万円、経常利益は前年同期比27.1%減少の1,007百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比28.4%減少の703百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ420百万円減少し、51,784百万円となりました。これは、主に事業譲受による無形固定資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加があったものの、現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ647百万円減少し、9,603百万円となりました。これは、主に借入金及び仕入債務、未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ226百万円増加し、42,180百万円となりました。これは、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月15日発表の通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,693	5,875
受取手形及び売掛金	8,115	8,135
有価証券	2,000	1,900
商品及び製品	1,831	1,832
仕掛品	595	823
原材料及び貯蔵品	1,214	1,261
その他	216	265
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,667	20,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,172	22,168
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,898	△16,072
建物及び構築物(純額)	6,273	6,096
機械装置及び運搬具	30,707	30,760
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,453	△27,584
機械装置及び運搬具(純額)	3,253	3,175
土地	7,969	7,969
リース資産	111	111
減価償却累計額及び減損損失累計額	△71	△80
リース資産(純額)	40	31
建設仮勘定	343	1,074
その他	2,908	2,934
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,492	△2,535
その他(純額)	416	398
有形固定資産合計	18,297	18,745
無形固定資産		
のれん	—	703
その他	31	40
無形固定資産合計	31	743
投資その他の資産		
投資有価証券	10,990	10,974
その他	1,296	1,303
貸倒引当金	△77	△76
投資その他の資産合計	12,209	12,201
固定資産合計	30,537	31,689
資産合計	52,205	51,784

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,944	3,727
1年内返済予定の長期借入金	600	600
未払金	1,485	1,468
未払法人税等	371	251
賞与引当金	366	385
その他	125	143
流動負債合計	6,894	6,578
固定負債		
長期借入金	1,050	750
環境対策引当金	11	7
固定資産撤去引当金	25	25
退職給付に係る負債	1,705	1,685
その他	565	556
固定負債合計	3,356	3,025
負債合計	10,250	9,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,690
利益剰余金	13,496	13,922
自己株式	△5,463	△5,472
株主資本合計	38,723	39,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,758	1,671
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	127	39
退職給付に係る調整累計額	△39	△31
その他の包括利益累計額合計	1,847	1,679
非支配株主持分	1,383	1,361
純資産合計	41,954	42,180
負債純資産合計	52,205	51,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	13,052	13,730
売上原価	10,022	11,056
売上総利益	3,029	2,673
販売費及び一般管理費	1,785	1,767
営業利益	1,244	906
営業外収益		
受取利息	28	30
受取配当金	57	66
持分法による投資利益	12	—
その他	53	40
営業外収益合計	152	137
営業外費用		
支払利息	3	2
その他	11	34
営業外費用合計	14	36
経常利益	1,381	1,007
特別利益		
保険差益	9	—
その他	0	1
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産処分損	13	30
その他	—	0
特別損失合計	13	30
税金等調整前四半期純利益	1,378	978
法人税、住民税及び事業税	317	211
法人税等調整額	32	3
法人税等合計	350	214
四半期純利益	1,028	764
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	982	703

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,028	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	△86
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	23	△144
退職給付に係る調整額	13	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	—
その他の包括利益合計	357	△223
四半期包括利益	1,385	540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330	534
非支配株主に係る四半期包括利益	55	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,506	2,423	122	13,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,506	2,423	122	13,052
セグメント利益	1,099	62	82	1,244

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	11,254	2,352	123	13,730
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,254	2,352	123	13,730
セグメント利益又は損失(△)	954	△131	83	906

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

化学品事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、740百万円であります。